

別表(1)-1

基礎科目カリキュラム

全学部・学科 共通開講科目

分類	科目	学科展開			備考
		必修	選択必修	選択	
基礎 教養 科目	哲学入門			2	
	現代の教育			2	
	世界の歴史			2	
	日本の歴史			2	
	暮らしと法律			2	
	暮らしと政治			2	
	社会学入門			2	
	暮らしと経済			2	
	経営学入門			2	経営教育学科卒業要件必修
	経営学基礎論			2	経営教育学科卒業要件必修
	簿記入門			2	
	簿記論			2	
	教養の数理			2	
	生活の物理			2	自動車・中学校教職課程推奨
	生活の化学			2	自動車・中学校教職課程推奨
	環境と生物			2	
	心理学入門			2	
	情報機器の操作			2	教職課程必修(66条の6)
	デザイン論			2	
	社会と倫理			2	
	総合政策入門			2	
	生活とスポーツ			2	スポーツ教育コース基礎科目
人間力概論			2	1年 全員履修 ※再履修不可	
基礎教養演習			2	1年 全員履修 ※再履修不可	
外国 語 科目	英語Ⅰ			2	教職課程選択必修(66条の6)
	英語Ⅱ			2	
	英語Ⅲ			2	
	ドイツ語Ⅰ			2	教職課程選択必修(66条の6)
	ドイツ語Ⅱ			2	
	ドイツ語Ⅲ			2	
	フランス語Ⅰ			2	
	フランス語Ⅱ			2	
	フランス語Ⅲ			2	
	中国語Ⅰ			2	教職課程選択必修(66条の6)
	中国語Ⅱ			2	
中国語Ⅲ			2		

	韓国朝鮮語Ⅰ			2	
	韓国朝鮮語Ⅱ			2	
	韓国朝鮮語Ⅲ			2	
	日本語Ⅰ			2	
	日本語Ⅱ			2	
	日本語Ⅲ			2	
保健体育科目	健康スポーツ科学概論	2			教職課程選択必修(66条の6)

【履修方法】※全学部学科共通(学則第7条)

「基礎教養科目」

12単位以上の単位を修得すること。(卒業要件の必修)

※経営教育学部経営教育学科は、「経営学入門」と「経営学基礎論」を卒業要件の必修とする。

「外国語科目」

同一語学科目(母語以外)で6単位以上を修得すること。(卒業要件の必修)

履修順序はⅠから順に履修し修得することが条件となる。

〔×の例〕英語Ⅰ、英語Ⅱ、ドイツ語Ⅰ＝6単位

〔○の例〕中国語Ⅰ、中国語Ⅱ、中国語Ⅲ＝6単位

〔○の例〕フランス語Ⅰ、フランス語Ⅱ、フランス語Ⅲ、ドイツ語Ⅰ＝8単位

(但しドイツ語の2単位は卒業要件単位には含まれない。)

※継続的学習として、外国語科目6単位を修得した後に、2年生後期に専門教養選択科目として開講される「各語学のコミュニケーション」の科目を履修することを推奨する。この科目は専門教養科目の選択科目として卒業要件単位に算入する。

※他語学の履修を希望する場合には、1年後(2年次以降)に希望語学(母語以外)のⅠより履修を行うこと。

※教職課程を履修する場合は、英語Ⅰ・ドイツ語Ⅰ・中国語Ⅰのいずれかを必修とすること。

日本語ⅠⅡⅢは、外国人留学生のみ履修し修得ができる科目とする。

外国人留学生は日本語ⅠⅡⅢを外国語科目の必修とする。

「保健体育科目」

健康スポーツ科学概論2単位を必修すること。(卒業要件の必修)

別表(1)-2

専門カリキュラム(共通)

全学部・学科 共通開講科目(専門教養科目 選択科目)

分類	科目	単位	学科開講			備考	
			教育	児童	経営		
専門教養科目 選択科目	グローバルラーニング科目群	日本語口頭・表現	1	○	○	○	
		日本語聴解・会話	1	○	○	○	
		日本語文章表現Ⅰ	1	○	○	○	
		日本語文章表現Ⅱ	1	○	○	○	
		日本語コミュニケーション	1	○	○	○	
		ビジネス日本語	1	○	○	○	
		総合日本語演習	1	○	○	○	
		英語コミュニケーション	1	○	○	○	
		ドイツ語コミュニケーション	1	○	○	○	
		フランス語コミュニケーション	1	○	○	○	
		中国語コミュニケーション	1	○	○	○	
		韓国朝鮮語コミュニケーション	1	○	○	○	
		English ConversationⅠ	1	○	○	○	
		English ConversationⅡ	1	○	○	○	
		English ConversationⅢ	1	○	○	○	
	キャリア教育科目群	大学生活入門	2	○	○	○	
		キャリア基礎	2	○	○	○	
		キャリアデザインⅠ	2	○	○	○	
		キャリアデザインⅡ	2	○	○	○	
		卒業生から聞く仕事と人生	2	○	○	○	
		キャリアプランニングⅠ	2	○	○	○	
		キャリアプランニングⅡ	2	○	○	○	
		家業継承計画論	2	○	○	○	
		起業論	2	○	○	○	
		販売ビジネス経営論	2	○	○	○	
		フードビジネス経営論	2	○	○	○	
		不動産ビジネス経営論	2	○	○	○	
		ファッションビジネス経営論	2	○	○	○	
	自動車ビジネス経営論	2	○	○	○		
	職業・教職実践科目群	インターシップ	1	○	○	○	
		自転車整備基礎Ⅰ	2	○	○	○	
		自転車整備基礎Ⅱ	2	○	○	○	
		自動二輪整備基礎Ⅰ	2	○	○	○	
自動二輪整備基礎Ⅱ		2	○	○	○		
4輪整備基礎1-Ⅰ		2	○	○	○		
4輪整備基礎1-Ⅱ		2	○	○	○		
4輪整備基礎2-Ⅰ	2	○	○	○			

4 輪整備基礎 2-II	2	○	○	○	
教職総合演習 1-I	1	○	○	○	
教職総合演習 1-II	1	○	○	○	
教職総合演習 2-I	1	○	○	○	
教職総合演習 2-II	1	○	○	○	
教職総合演習 3-I	1	○	○	○	
教職総合演習 3-II	1	○	○	○	
教職総合演習 4-I	1	○	○	○	
教職総合演習 4-II	1	○	○	○	

【履修方法】※全学部学科共通(学則第7条)

1. 上表の全学部・学科共通開講科目(専門教養科目 選択科目)(以下「学部学科共通選択科目」という)は、2017年4月より在籍している全ての学生を対象とする。
2. 上表の学部学科共通選択科目で修得した単位は、学則第7条の卒業要件単位の専門教養科目選択の単位に加えられる。
 - 教育学科では、専門教養科目選択 80 単位の中に加えられる。
 - 児童教育学科では、専門教養科目選択 66 単位の中に加えられる。
 - 経営教育学科では、専門教養科目選択の 84 単位の中に加えられる。
1. 各コミュニケーションと付与する(英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国朝鮮語、日本語)の科目を履修するには、履修条件として履修を希望する語学のⅠⅡⅢの6単位を修得しておく必要がある。
2. 日本語コミュニケーションは、外国人留学生のみ履修し修得ができる科目とする。
3. 日本語口頭・表現、日本語聴解・会話、日本語文章表現ⅠⅡ、ビジネス日本語、総合日本語演習は、外国人留学生のみ履修し修得ができる科目とする。(外国人留学生は履修することを必須とする。)

別表(1)-4

臨床教育学部 児童教育学科専門カリキュラム(学科別)

児童教育学科

分類	科目	学科展開		教職適応			備考
		必修	選択	幼児	児童	特支	
専門教養選択科目 学科共通開講科目	教育学概論Ⅰ【初等】	2		○	○		教職科目
	教育学概論Ⅱ(保育内容含む)	2					
	教育心理学Ⅰ【初等】	2		○	○		教職科目
	教育心理学Ⅱ(保育内容含む)	2					
	子どもの文学Ⅰ	2					
	児童福祉Ⅰ	2					
	児童福祉Ⅱ		2				
	児童文化	2					
	幼児理解の理論と方法		2	○			教職科目
	世界教育史Ⅰ	2					
	世界教育史Ⅱ		2				
	家庭支援論	2					
	家庭教育論		2				
	児童教育学総論Ⅰ	2					
	児童教育学総論Ⅱ(保育内容含む)	2					
	児童保健Ⅰ	2					
	児童保健Ⅱ		2				
	専門演習Ⅰ	4					
	専門演習Ⅱ	4					
	卒業論文	4					
	教育哲学Ⅰ		2				
	教育哲学Ⅱ		2				
	日本教育史Ⅰ	2					
	日本教育史Ⅱ		2				
	教育社会学		2				
	放送教育Ⅰ		2				
	放送教育Ⅱ		2				
	特別講義Ⅰ		2				
	特別講義Ⅱ		2				
	特別講義Ⅲ		2				
	特別講義Ⅳ		2				
	環境科学		2				
教育心理学研究法Ⅰ		2					
教育心理学研究法Ⅱ		2					
児童心理学Ⅰ		2					
児童心理学Ⅱ		2					
発達心理学Ⅰ		2					
発達心理学Ⅱ		2					

	学習心理学Ⅰ	2			
	学習心理学Ⅱ	2			
	人間関係論Ⅰ	2			
	人間関係論Ⅱ	2			
	日本文化研究Ⅰ	2			
	日本文化研究Ⅱ	2			
	環境保全管理学	2			
	情報リテラシー	2			
	カウンセリング心理学Ⅰ	2			
	カウンセリング心理学Ⅱ	2			
	社会福祉(障害児教育含む)	2			
	文章表現と読解	2			
	日本国憲法	2			教職課程必修
	情報科学	2			
	子どもの文学Ⅱ	2			
	学校ボランティア	2			
	健康スポーツ科学実習	1			教職課程必修
	障害者スポーツ概論	2			
	障害者レクリエーション	2			
	日本の言語文化	2			
専門 教養科目 教職 教養科目	教材・授業研究(国語)	2			
	教育の方法と技術【初等】	2	○	○	教職科目
	教育行政学【初等】	2	○	○	教職科目
	教育制度論	2			
	教育課程論【初等】	2	○	○	教職科目
	道徳教育の指導法【初等】	2		○	教職科目
	教職論【初等】	2	○	○	教職科目
	特別活動の指導法 (総合的な学習を含む)【初等】	2		○	教職科目
	生徒・進路指導の理論と方法【初等】	2	○	○	教職科目
	教育相談の理論と方法【初等】	2	○	○	教職科目
	教育実習	4	○	○	教職科目
	教育実習事前・事後指導	1	○	○	教職科目
	教職実践演習(幼・小)	2	○	○	教職科目
	児童体育	2	○	○	教科科目(小)
	幼児体育	2	○	○	教科科目(幼)
	図画工作Ⅰ	2	○	○	教科科目(小・幼)
	図画工作Ⅱ	2	○	○	教科科目(小・幼)
	国語概論	2	○	○	教科科目(小・幼)
	数学概論	2	○	○	教科科目(小・幼)
	器楽Ⅰ	1	○	○	教科科目(小・幼)
	器楽Ⅱ	1	○	○	教科科目(小・幼)
	器楽Ⅲ	1	○		教科科目(幼)
	器楽Ⅳ	1	○		教科科目(幼)

	声楽Ⅰ		2	○	○		教科科目(小・幼)	
	声楽Ⅱ		2	○			教科科目(幼)	
	理科概論		2		○		教科科目(小)	
	生活概論		2	○	○		教科科目(小・幼)	
	家庭概論		2		○		教科科目(小)	
	社会概論		2		○		教科科目(小)	
	書写		2	○	○		教科科目(小・幼)	
	教育の文学		2					
	教育方法の文学		2					
	学校インターンシップ		1					
幼稚園免許・保育領域科目	保育内容指導法Ⅰ		2	○			教職科目	
	保育内容指導法Ⅱ		2	○			教職科目	
	保育内容総論		2					
	保育内容Ⅰ(健康)		2	○			教職科目	
	保育内容Ⅱ(人間関係)		2	○			教職科目	
	保育内容Ⅲ(環境)		2	○			教職科目	
	保育内容Ⅳ(言葉)		2	○			教職科目	
	保育内容Ⅴ(表現—絵画制作)		2	○			教職科目	
	保育内容Ⅵ(表現—音楽リズム)		2	○			教職科目	
	幼稚園観察実習		2					
	幼稚園参加実習		2					
	相談援助		2					
	社会的養護		2					
	保育者論		2					
	子どもの保健		2					
	子どもの食と栄養		2					
	保育課程論		2					
	乳児保育		2					
	障害児保育		2					
	社会的養護内容		2					
	保育相談支援		2					
	保育実習Ⅰ-1(保育所)		2					
	保育実習Ⅰ-2(施設)		2					
	保育実習事前事後指導Ⅰ-1		1					
	保育実習事前事後指導Ⅰ-2		1					
	保育実践演習		2					
	保育実習Ⅱ		2					
	保育実習事前事後指導Ⅱ		1					
	小学校免許科目	児童英語Ⅰ		2		○		又は科目
		児童英語Ⅱ		2				
初等教科教育法Ⅰ(国語)			2		○		教職科目	
初等教科教育法Ⅱ(社会)			2		○		教職科目	
初等教科教育法Ⅲ(算数)			2		○		教職科目	
初等教科教育法Ⅳ(理科)			2		○		教職科目	

	初等教科教育法Ⅴ(生活)		2		○	教職科目
	初等教科教育法Ⅵ(音楽)		2		○	教職科目
	初等教科教育法Ⅶ(図画工作)		2		○	教職科目
	初等教科教育法Ⅷ(家庭)		2		○	教職科目
	初等教科教育法Ⅸ(体育)		2		○	教職科目
	初等教科教育法Ⅹ(英語)		2		○	教職科目
特別支援学校免許科目	特別支援教育総論		2		○	特支科目
	障害者福祉論		2		○	特支科目
	知的障害者の心理・生理・病理		2		○	特支科目
	肢体不自由者の心理・生理・病理		2		○	特支科目
	病弱者の心理・生理・病理		2		○	特支科目
	知的障害児の教育Ⅰ		2		○	特支科目
	知的障害児の教育Ⅱ		2		○	特支科目
	障害児臨床		1		○	特支科目
	病弱児の教育		2		○	特支科目
	肢体不自由児の教育Ⅰ		2		○	特支科目
	肢体不自由児の教育Ⅱ		2		○	特支科目
	視覚障害者の心理・生理・病理		1		○	特支科目
	聴覚障害者の心理・生理・病理		1		○	特支科目
	視覚障害児の教育		1		○	特支科目
	聴覚障害児の教育		1		○	特支科目
	重複障害教育の理論と実際		1		○	特支科目
	特別支援学校観察実習		1		○	特支科目
	特別支援教育実習		3		○	特支科目
言語障害児の教育		1				

○印＝コース推奨科目 △印＝コース選択科目 ◇印＝選択推奨科目

【履修方法】

- ・ 卒業要件必要単位として、基礎教養科目 12 単位、外国語科目 6 単位、保健体育科目 2 単位、専門教養必修科目 38 単位、専門教養選択科目 66 単位以上を修得した合計が 124 単位以上になること。(卒業要件)
- ・ 教職教養科目群及び各免許科目群より修得した単位(学科必修科目を除く)は、全て専門教養選択科目の卒業要件単位 66 単位に算入される。

【取得可能な教育職員免許状】

- ・ 小学校教諭一種免許状
- ・ 幼稚園教諭一種免許状
- ・ 特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病弱者)
※特別支援学校教諭一種免許状は小学校もしくは幼稚園の主となる免許状の取得が必要となります。

※特別支援学校の教育職員採用試験を受験する場合、小学校教諭免許状の取得および取得見込みが条件となる。

- ・ 教育職員免許状授与の所要資格を得させるための課程は、別表(2)に定める。

【諸資格及び受験資格取得】

各資格等の取得については別表(3)を参照すること。

- ・ 公認障害者スポーツ指導員(初級)「公益財団法人 日本障害者スポーツ協会」
- ・ 准学校心理士「一般社団法人 学校心理士認定運営機構」
- ・ 保育士資格